

深く沈む

きみとぼくの海をさがして
きらびうなる波の狭間の
色を知る

さざとかかる風とかさなり
深くゆれる木々の雫の
色を知る

軋む空の雲をはがして
満ちる夜と海のひかりの
色を知る

ひかる波と祈りのすべてを
重ねあわせきみのからだの
血の色

夜を裂いて深く沈むよ
いまでも

夜を裂いてきみと沈むよ
いまでも

呼吸

巡り目眩き
打ち寄せては退いてゆく
波のように僕を襲う
果てしなく

巡り目眩き
生まれては死んでゆく
夜のように僕を殺す
限りなく

呼気は蒼く吸気は朱く

果てしなく果てしなく
僕を襲う僕を殺す

呼気よ吸気よ止まれ

夜曲 nocturnal ocean

夜の先端が鋭く尖り海中へ
海原はこうこうと輝きを放ち

死の先端は夜に
夜の波は死のさきから
星の波は世のさきへ

ひかりは
夜とわたしとあなたのもの

my private sun

地を這う風の中を
おまえの影を求めて

焼けた砂の上も探したのに
凍てつく氷の道も探したのに

おまえはあの太陽のように
影を持たないのか

白日を彷徨ううちに
ふと見上げればそこに
空の青みが見えた

乾いたこの地にひれ伏し
おまえだけを崇めよう

いまここに降りたち
僕のこの身を焼き尽くせ

おまえはあの太陽のように
孤り輝くだけか